

平成30年第3回竜王町議会定例会（第4号）

平成30年9月26日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

- 日程第 1 議第52号 平成30年度竜王町一般会計補正予算（第2号）
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 2 議第57号 平成29年度竜王町一般会計歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 3 議第58号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 4 議第59号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 5 議第60号 平成29年度竜王町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 6 議第61号 平成29年度竜王町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 7 議第62号 平成29年度竜王町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 8 議第63号 平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第 9 議第64号 平成29年度竜王町水道事業会計決算認定について
（予算決算常任委員会委員長報告）
- 日程第10 決議第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議
- 日程第11 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第12 地域活性化特別委員会委員長報告

日程第 1 3 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

日程第 1 4 議員派遣について

日程第 1 5 委員会の閉会中の継続調査の申出について

2 会議に出席した議員（12名）

1番	菱田三男	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	貴多正幸	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
監査委員	貴多正幸	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監兼 発達支援課長	嶋林さちこ	産業建設主監	井口和人
主監心得兼 未来創造課長	奥浩市	会計管理者	西川良浩
総務課長	川嶋正明	税務課長	寺嶋要
生活安全課長	関司明德	住民課長	森岡道友
福祉課長	間宮泰樹	健康推進課長	中原江理
農業振興課長	井口清幸	商工観光課長	岩田宏之
建設計画課長	森徳男	上下水道課長	込山佳寛
農業委員会事務局長	白川賢治	教育次長兼 生涯学習課長	田邊正俊
教育総務課長心得	町田啓司	学校教育課長	武久雅則

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	奥智子
--------	------	----	-----

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより、平成30年第3回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 1 議第 5 2 号 平成 3 0 年度竜王町一般会計補正予算（第 3 号）**

○議長（小森重剛） 日程第1 議第52号、平成30年度竜王町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本案は、予算決算常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長、松浦 博議員。

○予算決算常任委員会委員長（松浦 博） 議第52号、予算決算常任委員会報告。

平成30年9月26日

委員長 松浦 博

去る9月7日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第52号、平成30年度竜王町一般会計補正予算（第2号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、9月11日午前9時より301会議室において、委員全員出席のもと委員会を開催し、西田町長、関係主監をはじめ、関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

議第52号、平成30年度竜王町一般会計補正予算（第2号）は、既決の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ9,336万円を追加し、歳入歳出予算額の総額を、歳入歳出それぞれ56億4,951万6,000円に改めるものです。

主な質疑応答。

問) ため池ハザードマップ作成業務委託について、何カ所を対象として作成されるのか。

答) ため池ハザードマップの対象は10カ所です。国の計画（目標値）では、平成32年度までにため池ハザードマップを作成することとされています。現在、竜王町地域防災計画、並びに竜王町水防計画における「重点水防ため池」20カ

所の見直しを行うと同時に、決壊時、人命にかかわるような危険度が高い農業用ため池からハザードマップの作成を進めていきます。

問) 農業水利施設の機能保全計画策定業務委託の内容と、策定される計画と農村まるごと保全向上対策との整合性は。

答) 農業水利施設の機能保全計画策定業務は、国や県の管轄以外の町や改良区等が管理する用水路・排水路が町内で約300キロメートルあり、現地調査を踏まえて機能保全の計画策定を行います。

具体的には、現地調査で機能診断を実施し、路線別に実施範囲を定め、更新コストを概算で算出します。この結果を踏まえて、更新対策を検討し、保全計画を策定します。

次に、農村まるごと保全向上対策との整合性ですが、今日までは、各地域で当該事業を活用することで簡易な修繕に取り組んでいただきましたが、施設整備から長年が経過し、施設の老朽化が進み、大規模な修繕や更新が必要不可欠となってきました。このことから、この保全計画により中長期的計画を立て、順次補助金を活用しながら整備していくものです。

問) 庁舎管理用備品について、当初予算額の倍を補正するということであるが、十分な協議をして当初予算額を要求すべきではなかったか。

答) 応接室のソファの劣化が著しく、買い換えが必要であったため、当初予算にて予算計上を行い、承認いただきましたが、予算執行に当たり再調整したところ、当初予算に増額補正が必要であると判明しました。当初予算の際に、もう少し議論を深める必要があったと思っています。

応接室は町の顔というべき場所でもあり、また、来客をもてなす場所でもありますので、改めてデザインや機能性からふさわしいものを見きわめて、今回、増額補正をお願いするものです。

問) コンパクトシティ化検討懇話会委員と町民ワーキング委員の報償額はそれぞれ幾らか。

答) 会議開催ごとに、町民ワーキング委員は2,000円で、懇話会委員は、座長が3万円で、有識者は1万円、他の委員は5,000円です。

問) 住民基本台帳システム等改修委託で、何を改修するのか。

答) 女性活躍推進ということで旧姓併記が進められています。それに伴い、住基ネットワーク、コンビニ交付で旧姓併記ができるようにシステムを改修するものです。国費による100%補助です。

問) 旧姓併記するような届け出があるのか。

答) 全国では、旧姓を使いながら仕事をされている方がいます。例えば、正式な契約であれば、戸籍の届出名を使う必要があり、証明書等に旧姓を併記することで解消していくよう進められています。

問) 社会福祉総務費の電算プログラム開発業務委託で、何を開発するのか。

答) 障害福祉制度の改正に伴うもので、障害福祉サービス利用中の方が介護サービスを利用されたとき、高額合算できるようになったことや、難病の方が障害福祉サービスの対象者になったこと、補装具の貸与がサービスの対象になったことに対応するためのプログラム開発です。国による1/2の補助です。

問) 畜産競争力強化対策整備事業費補助金の詳細は何か。

答) 町内の畜産事業者が、近江八幡市で牛舎跡地の活用を計画されており、家畜用施設6棟と付帯施設として電灯や水道などの整備に対する補助であります。

計画では、324頭の牛をふやすとされています。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で、議第52号は原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長(小森重剛)** ただいま、予算決算常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(小森重剛)** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長(小森重剛)** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第1 議第52号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長(小森重剛)** 起立全員であります。よって、日程第1 議第52号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

- 日程第 2 議第 57号 平成29年度竜王町一般会計歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第 58号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第 59号 平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 5 議第 60号 平成29年度竜王町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 6 議第 61号 平成29年度竜王町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 7 議第 62号 平成29年度竜王町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 8 議第 63号 平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)
- 日程第 9 議第 64号 平成29年度竜王町水道事業会計決算認定について
(予算決算常任委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第2 議第57号、平成29年度竜王町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第9 議第64号、平成29年度竜王町水道事業会計決算認定についてまでの8議案を一括議題といたします。

本案は、予算決算常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

予算決算常任委員会委員長、松浦 博議員。

○予算決算常任委員会委員長(松浦 博) 議第57号から議第64号、予算決算常任委員会報告。

平成30年9月26日
委員長 松浦 博

去る9月7日の本会議におきまして、予算決算常任委員会に審査の付託を受けました議第57号、平成29年度竜王町一般会計歳入歳出決算認定についてから、議第64号、平成29年度竜王町水道事業会計決算認定についてまでの8議案について、審査の経過と結果を報告します。

1、議第57号、平成29年度竜王町一般会計歳入歳出決算認定について。

本委員会は、去る9月13日と14日の両日、午前9時より301会議室において委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、桴木副町長、甲津教育長、西川会計管理者、関係主監・次長及び課長等の出席を求め、説明を受け、審査をいたしました。

平成29年度の一般会計の決算額は、歳入総額が73億7,509万4,281円、歳出総額が70億5,323万423円となり、歳入歳出差引額は3億2,186万3,858円であります。このうち平成30年度に繰り越した事業に要する財源1億2,460万5,000円を差し引くと、実質収支額は1億9,725万8,858円の黒字となります。

決算書、並びに決算報告書に基づいて各課より詳細説明を受け、審査を行いました。審査の中で出された主な質疑応答と意見は次のとおりです。

問) 自ら考え自ら行うまちづくり事業について、予算執行がなかった自治会もあるが、執行率は何%であったか。

答) この事業は3年間で実施してきた事業ですが、満額執行された地区もありますし、一部予算が残った地区もあり、最終執行率は85.7%でした。

問) 若者交竜コーディネーター事業委託料の当初予算額は180万円であったのに対し、決算額は約8万円となっているがなぜか。

答) 自分たちでできることをしていこうという取り組みの中で、新たな企画は難しく、前年度のようなイベントは行わず、まずはメンバーをふやしていこうということとなり、年度途中で減額補正をし、大きな予算執行するような事業はできていません。

問) 公共交通対策で、定期券の購入者と夜間特別便のタクシー利用者の現状はどのようなになっているのか。

答) 増加傾向にあります。定期助成も60人を超えていて、夜間特別便のタクシー利用は、ほとんど毎日ありました。9月も、9時、10時便で、タクシー1台に乗り切れないときはワゴン車となりますが、同時にワゴン車が用意できない場合には、タクシー2台で分乗している状況です。このことから、かなり定着し

ている状況です。

問) ごみの収集料は、近年の状況から見て負担がふえるのか。

答) 松が丘団地前や次年度以降には須恵町有地に住宅ができ、ごみ集積所がふえることから、委託料の増加が見込まれています。

また、人件費が増加していることから、委託料は増加傾向にあります。

問) 災害時要援護者支援で地区ごとに集約されていると思うが、その状況は。

答) 現在、自主的登録申請をいただいているのが170名です。この方々は、各自治会長や民生委員児童委員に声かけをして対応しています。

町全体として要件に該当する方となると、約2,200名が対象と把握しています。

問) 町防災会議や水防協議会については執行額がゼロ円であるが、どのような場合に会議を開催するのか。

答) 昨年度は、防災情報システムの基本設計や防災計画の改定の内容が詰まらず、開催していません。

平成30年度は、8月に防災会議と水防会議を開催し、その中で町の防災情報システムの協議をしました。

地域防災計画の見直しは防災会議の議論を経て作成することから、今年度は2回程度開催します。

問) 地域なじみの安心事業とは、どのような内容か。

答) 介護者の急な病気、事故、葬祭などやむを得ない事由により要介護者等の介護が困難になった場合に、デイサービス事業所等による介護サービスを提供する事業です。

問) 放課後児童健全育成事業について、竜王小学校区学童保育所を増床されたが、その評価はどうか。

答) 2組の部屋ができたことにより、子供は喜んでいます。教室は快適な空間となっており、保護者からも改善に対する評価の声をもらっています。

問) 健康推進課から教育委員会へ保育所に関する事務の所管が変わったが、保護者の反応は。

答) 教育委員会で、幼稚園と保育園の違いを聞いたり、相談ができるなど、1つの窓口で対応できるようになりました。苦情は聞いていません。

問) 竜王西小学校の沈下・プール改修について、沈下をとめる工事は行っていないため、今後も沈下が発生する可能性はあると思うが、沈下を起こしていない

水道や排水設備、花壇付近等の今後の追跡調査を計画的にしているのか。

答) 追跡調査は行っています。定期的に管理と見回りをしています。年に1回、年度末に高さの測定をしています。今後も実施する計画です。

問) 全国青年大会に荷物を搬入するために19万4,400円かかったのか。
また、県からの補助金はどのようになっているのか。

答) 全て荷物搬入のための費用です。

県では、全国青年大会の選手派遣事業補助金として148万円を予算化されており、滋賀県青年団体連合会に補助されています。

問) 学校給食センターの老朽化や厨房機器の経年劣化が著しい中で、その場しのぎで修繕をしている。今後も劣化が進む中で、施設のあり方をどのように考えているのか。

答) 改築すべき優先順位が高い施設であることは十分認識していますが、基本的に小学校の改修が見えていますので、学校施設のあり方と並行して考えていくべきと思います。

小学校と給食センターは、一定期限のある中で早急に進めるべきと認識し、検討を進めています。

問) 農業者年金加入者は年々減っているが、最近ではハウス栽培農業者もふえてきた。その方に対しても加入促進しているのか。

答) 新規就農者や認定農業者等へは加入促進のチラシを配布しています。また、農業委員会だよりで加入促進や、年度初めの農事改良組合長会議でも周知しています。

問) 田園資料館改修工事設計業務委託をしているが、田園資料館をどのようにしようと考えているのか。

答) アグリパーク一帯がスキヤキプロジェクトの情報発信基地としての位置づけとなっています。それをより進めるために田園資料館を改修するもので、内容は、近江牛の展示コーナーや空調整備の改修をしてきました。

今後、田園資料館への集客をふやすための環境づくり、竜王町のPRブースや、体験ブース、古民家の活用を一層図るなど改修工事を行います。

問) 観光活性化促進事業の内容は。また、本事業を行った理由は。

答) 道の駅は、冬期は来場者が少なくなるため、冬にイベントを開催することにより集客につなげることを目的に、地球温暖化防止の啓発の目的とあわせて実施しました。

国庫補助を受けて実施した本事業は、年間を通して地球温暖化対策啓発を実施する必要があり、町内事業所に賛同を呼びかけたり、文化祭でトークショーや子供向け科学パフォーマンスショーを開催しました。

また、滋賀県交通安全フェアで、ダイハツ工業株式会社の協力をいただき、ダイハツの自動車展示とあわせてエコドライブの啓発を行い、2月には、両道の駅で電気自動車のイベントを行い集客に努めました。本事業は、単年度事業です。

問)ふるさと竜王夏まつりで予算を増額したが、その効果はあったのか。

答)「屋台、花火、総踊り」を重点的に充実させることとした。特に、花火は、町内企業へ商工会青年部が訪問し、多くの寄付をいただいた。また、夏は暑いので涼しさをテーマにし、雪のイベントを楽しんでいただきました。

また、事後の実行委員会では、2年に一度の開催をどうするのか、開催場所をどこにするのかという意見は出ましたが、決定までは至りませんでした。

問)空き家等対策で空き家の件数が151件、空き地の件数が267件と把握されたが、具体的な対策は。

答)この調査結果を受けて、平成30年度に所有者への意向調査を進めています。また、他市町よりは少しおこなっていますが、これらの調査結果をもとに、今年度、空き家等対策計画の策定を行います。

2、議第58号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について。

議第59号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）歳入歳出決算認定について。

議第60号、平成29年度竜王町学校給食事業特別会計歳入歳出決算認定について。

議第61号、平成29年度竜王町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について。

議第62号、平成29年度竜王町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について。

議第63号、平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について。

議第64号、平成29年度竜王町水道事業会計決算認定について。

次に、本委員会は、9月18日午前9時より301会議室において委員全員の出席のもと会議を開き、町執行部より西田町長、甲津教育長、西川会計管理者、関係主監・次長及び課長等の出席を求め、それぞれ所管する決算について説明を

受け審査いたしました。

議第58号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算については、歳入総額が15億5,982万9,510円で前年度比119.1%、歳出総額が14億4,376万9,463円で前年度比116.8%、歳入歳出差引額は、1億1,606万47円となっています。

主な質疑応答。

問) 滞納者の医療機関への受診状況を把握しているか。

答) 受診状況は把握していませんが、滞納者全体を見回して、短期証を発行しています。

議第59号、平成29年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）歳入歳出決算については、医科の歳入総額が806万7,904円で前年度比71.3%、歳出総額が729万888円で前年度比69.2%、歳入歳出差引額は77万7,816円となっています。歯科は、歳入総額が6,039万336円で前年度比98.9%、歳出総額が5,696万8,725円で前年度比107.7%、歳入歳出差引額は342万1,611円となっています。

主な質疑応答。

問) 平成29年度の医科診療所の受診件数や外来者数がふえているが、要因は何か。

答) 平成29年6月からリハビリ外来が開始されたことによるものです。リハビリ外来の受診者数は1,313名、一般診療が5,210名で、合わせて6,523名です。

議第60号、平成29年度竜王町学校給食事業特別会計歳入歳出決算については、歳入総額が6,115万8,799円で前年度比100.5%、歳出総額は6,052万1,036円で前年度比100.2%、歳入歳出差引額は63万7,763円となっています。

主な質疑応答。

問) 債権の不能欠損の7万7,000円は何か。

答) 平成20年度に未納があり、不能欠損という処理を行いました。町外に転出されていて、時効援用をされたため、不能欠損として処理しました。

議第61号、平成29年度竜王町下水道事業特別会計については、平成30年4月1日から地方公営企業法を適用するため、平成30年3月31日をもって出納閉鎖を行った。したがって、前年度対比は29年5月末と30年3月末での比

較となる。

歳入歳出決算については、歳入総額が6億8,266万3,842円で前年度比106.1%、歳出総額が6億2,278万1,722円で前年度比97.7%、歳入歳出差引額は5,988万2,120円となっています。

主な質疑応答。

問) 公共下水道受益者分担金については、一般家庭は宅地面積に応じて支払いをしているが、工業団地については、どういう算出方法になっているのか。

答) 一般家庭の場合は、敷地面積1平方メートル当たり250円であり、工業団地は建蔽率60%の面積に250円をかけている。

議第62号、平成29年度竜王町介護保険特別会計歳入歳出決算については、歳入総額が9億2,834万9,663円で前年度比99.8%、歳出総額が9億672万347円で前年度比102.7%、歳入歳出差引額は2,162万9,316円となっています。

主な質疑応答。

問) 生活支援体制整備事業費は、32自治会あるが、32自治会分の地域カルテができたのか。本事業はどのように進められているのか。

答) 地域カルテに関しては、32自治会全てで作成しました。関係者の研修の中で、民生委員、区長、地域代表、福祉委員に資料提供しています。福祉課、社会福祉協議会に要求すれば、地域のカルテを提供することができます。

地域活動を主に福祉課が担っており、社会福祉協議会は、個人への活動や生活支援コーディネーター活動を担い、両輪で高齢者の生活を支える体制の整備を進めています。

議第63号、平成29年度竜王町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算については、歳入総額9,855万290円で前年度比102.6%、歳出総額9,811万8,759円で前年度比102.2%、歳入歳出差引額は43万1,531円となっています。

質疑応答なし。

議第64号、平成29年度竜王町水道事業会計決算については、消費税抜きで、第3条収益的収入3億4,495万5,253円、収益的支出3億3,705万3,221円で、純利益は790万2,032円となっています。

第4条資本的収入は1億2,952万5,640円で、資本的支出は1億8,745万6,448円で、差し引き5,793万808円の不足となり、当年度

分損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額で補填を行いました。

主な質疑応答。

問) 水道技術管理者を養成するには研修費と期間が必要であることから、人事異動に配慮が必要ではないか。

答) 研修者は1名で、実務も含めて約2カ月かかっています。資格取得後に、申請を出して水道技術管理者になってくれます。4月に異動してきた職員が資格を取得しましたが、早く実践になれてほしいという意図も込めて研修を受講させました。人事異動については、配慮が必要であると考えています。

主な意見としては次のとおりです。

町税をはじめ、国民健康保険税並びに上下水道使用料等において、滞納が依然として多く、町税の収入未済額減少への対策として、初期対応を適切に行い、収入確保に努められたい。

補助金、契約に関しては、研修会でコンプライアンスの意識向上に注力され、厳守されたい。

以上、慎重審査の結果、議第57号から議第64号までの8議案については全員賛成で認定すべきものと決しましたので報告いたします。

○議長（小森重剛） ただいま、予算決算常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

採決は1議案ごとに行います。

お諮りいたします。

日程第2 議第57号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第2 議第57号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第3 議第58号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第3 議第58号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第4 議第59号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第4 議第59号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第5 議第60号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第5 議第60号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第6 議第61号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第6 議第61号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第7 議第62号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第7 議第62号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第8 議第63号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第8 議第63号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

次に、日程第9 議第64号を委員長報告のとおり認定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第9 議第64号は委員長報告のとおり認定することに決定されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第10 決議第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議

○議長（小森重剛） 日程第10 決議第1号、2025年国際博覧会の誘致に関する決議を議題といたします。

提出理由の説明を求めます。

提出者、2番、小西久次議員。

○2番（小西久次） 決議第1号、2025年国際博覧会の誘致に関する決議につきましては、皆さんのお手元に配付のとおりでございます。

ここでは、提出理由を述べさせていただきます。

提出理由。

2025年博覧会の実現は、新たな産業のイノベーションや観光振興が期待できるなど、広域にわたって大きな経済効果をもたらす。また、世界中の人々の健康に係るさまざまな課題を克服し、人類の未来に向けてよい生活を送ることができる新しいモデルを提案することや、それを広く世界に発信するという点において、大変意義あるものである。

よって、本議会は、国際博覧会の意義に賛同し、国際博覧会の誘致実現に向け、2025日本万国博覧会誘致委員会の誘致活動を支援・協力するものである。

以上でございます。

○議長（小森重剛） 以上で、提出理由の説明が終わりました。

これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

3番、若井猛志議員。

○3番（若井猛志） 決議第1号、2025年国際博覧会の誘致に関する決議に反

対討論を行います。

私は、万国博覧会がもつ、産業や技術の進歩、展望を示し、広く教育的に広げようという理念そのものに反対するものではありません。

しかし、大阪万博は、「カジノ万博」と言われております。本決議は、I R、カジノ構想については触れられておりませんが、大阪府の知事は、I Rと万博の相乗効果を成長の起爆剤にしようと期待しております。

また、本決議は、昨年3月に大阪府の知事から、各大阪の各市議会に要請された内容とほぼ同様のものです。府下の自治体議会がこぞって決議を上げることにより、大阪万博が府民からも支持されていることを世界に示すとともに、市町村の協力を取りつけようとするものです。

こうした大阪万博には、3つの点で問題があると思います。

1つは、大阪府知事が万博とI R、カジノをセットとして推進を図ろうとしていることです。この間の世論調査でも、大阪万博の予定地近くにカジノを含む統合型リゾートを誘致することへの賛否を問うと、反対が過半数を大きく上回っております。

しかし、大阪府は既にI R推進局が設置されております。カジノは刑法で禁じられている賭博です。知事は、成長戦略と位置づけておりますが、ギャンブルが何の財も生み出すものでないことは明瞭です。それがもたらすのは、ギャンブル依存型の拡大、不法団体の暗躍、まともな産業経済の衰退などであり、人類の進歩・展望とか、万博が掲げる健康長寿のテーマとも相入れないものです。

2つ目は、この万博が大阪湾の埋め立て途中の人工島「夢洲」で開催されることです。この地で破綻した巨大開発が、またもや進められようとしている点です。

大阪湾の夢洲、咲州、舞洲でのゼネコン浪費型巨大開発事業などを行い、大阪財界を中心に進めてきた大阪湾ベイエリア開発計画は、この間、大きな破綻をしてきました。府庁移転を叫んでおりました前大阪府知事が、当時の旧W T Cを購入し、咲州開発の起爆剤にしようとしたが、東日本大震災を通して、このビルが防災拠点として耐えられないことが明らかになり、20府庁舎の重しとなったままです。地盤の液状化も心配されます。

大阪府知事は、万博誘致を呼び水に、こうした破綻済みの巨大開発を再び叫んでおります。

しかし、この間、大阪湾ベイエリア開発計画破綻の真剣な検証と総括なしに、過大見積もりを重ねて、それはいつか来た破綻の道の二の舞になるだけです。ま

して、近い将来、南海トラフ地震は確実視されるもので、大地震・大津波に耐えられない夢洲に、半年にわたって人を集中しようという計画は、余りにも無謀と言わなければなりません。

3つ目は、夢洲万博が巨大財政負担も大阪府、大阪市、府民に強いることの懸念です。

大阪府の基本構想によりますと、会場建設費は1,200億円から1,300億円、運営費は690億円から740億円などとして、会場建設は国と自治体、関西財界が3分の1ずつ負担すると言っております。これ以外に万博会場に不可欠な用地や鉄道を整備する関連事業費が730億円とされています。これは、大阪府や大阪市にとって巨額の負担となります。加えて、入場収入を3,000万人と見込むなど、現実的に可能な積算根拠は明瞭にされておられません。東京オリンピックと同様、事業計画を明らかにするごとに予算が膨れ上がる懸念があります。

また、建設費の負担については、民間企業で支出に前向きなのは、大阪府のアンケートでも18%しかありません。ツケが大阪市民に回される危険もはらいます。

以上の3点における懸念から、2025年国際博覧会の誘致に関する決議に反対するものです。

**○議長（小森重剛）** ほかに討論ありませんか。

9番、貴多正幸議員。

**○9番（貴多正幸）** 決議第1号、2025年国際博覧会の誘致に関する決議に賛成の立場で討論をいたします。

決議の提出理由で述べられましたように、2025年国際博覧会は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、人類共通の課題への解決策を3カ国とともにつくり上げ、世界に向けて発信する、大変意義あるものであると認識しています。

反対討論でIRとの関連を述べられましたが、そもそも万博とIRはそれぞれ独立した事業であり、相互の依存性はなく、また、IR区域の認定を目指すエリアは、万博予定地の北側に位置しており、それぞれに立地場所は完全に分離されると仄聞しております。

以上のことから、大阪夢洲が万博会場になることは、圏域全体のみならず、滋賀県における産業振興や観光、文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振

興や住民の生活向上にも寄与するものと考えられます。

以上、決議第1号、2025年国際博覧会の誘致に関する決議に賛成するものです。

以上でございます。

○議長（小森重剛） ほかに討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第10 決議第1号を原案のとおり決議することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立多数であります。よって、日程第10 決議第1号は原案のとおり決議することに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第11 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第11 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、内山英作議員。

○議会広報特別委員会委員長（内山英作） 議会広報特別委員会報告。

平成30年9月26日

委員長 内山 英作

本委員会は、平成30年第2回定例会閉会後の6月29日、7月5日、18日に委員会を開催し、議会だより184号の編集作業を行い、8月1日に発行しました。

次に、本委員会は、6月28日に、福井県大野市議会、議会だより編集委員会から議会広報編集に関する視察研修を受け入れ、広報編集技術のレベルアップを図ることを目的に、委員会の役割、記事の編集方法等、活発な意見交換を行いました。

次に、本委員会は、委員5名出席のもと7月10日に全国町村議会広報研修に参加し、広報クリニックを受け、翌11日に埼玉県寄居町議会で住民に親しみやすい議会広報紙作成のポイント等について研修を実施しました。

次に、本委員会は、本定例会中の9月7日午後1時40分から委員全員出席のもと委員会を開催し、前回の編集作業と視察研修を踏まえて、編集に係る課題と今後の方向性について協議を行い、議会だより185号の掲載記事の概要検討、役割分担及び編集日程を決定しました。編集のための委員会は、定例会閉会後の10月2日、9日、15日、19日の4日間開催することにしました。

また、10月1日に徳島県美馬市議会、10月15日に岐阜県養老町議会から、議会広報編集に関する視察研修の申し入れがあり、本委員会で受け入れることに決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第12 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第12 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、貴多正幸議員。

○地域活性化特別委員会委員長（貴多正幸） 地域活性化特別委員会報告。

平成30年9月26日

委員長 貴多 正幸

本委員会は、9月11日午後1時より委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、井口産業建設主監及び関係課長等の出席を求め、調査を行いました。

1、住宅整備状況について。

小口市街化区域、須恵地区、鶴川町有地、山之上地区、松陽台地区（IBMグランドラウンド跡地）の住宅開発の進捗状況について説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 町長がIBM本社へ5月に訪問し、6月にはIBMと関係者が来庁されているが、進展はあるのか。

答) 開発予定事業者と金融機関の3社で来られ、住宅整備を前向きに進めていきたいとの考えを示されました。開発予定事業者からは、造成計画の見直しを行

っているとの説明を受けています。

2、滋賀竜王工業団地の進捗状況について。

滋賀竜王工業団地整備事業については、残る工事が多目的広場整備工事のみとなり、10月10日の竣工に向けて工程管理に努めているところ。

また、企業の誘致状況については、7号地の買受申出書兼誓約書が企業から県土地開発公社へ提出されたところであり、引き続き本町産業の活性化に資する企業の誘致を推進していくと説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 昨今、大雨や台風などが頻発しているが、1号調整池について、雨の降っている現状等を確認したことはあるのか。

答) 雨が降っている間、やんだ後等の現場を確認していますが、調整池から川に流出していた水量については、問題はないと思っています。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

○議長(小森重剛) ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

この際、申し上げます。ここで午後2時30分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後2時16分

再開 午後2時30分

○議長(小森重剛) 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第13 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第13 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、小西久次議員。

○議会運営委員会委員長(小西久次) 議会運営委員会報告。

平成30年9月26日

委員長 小西 久次

本委員会は、7月24日午後1時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、平成30年第3回定例会の日程について協議し、会期を9月3日から9月26日の24日間とする案を作成しました。また、議会報告会について協議し、事前学習会、並びに当日の進行及び役割分担について確認しました。

次に、本委員会は、8月28日午前9時より第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、桴木副町長、山添総務主監、川嶋総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成30年第3回定例会の提案事件について執行部より説明を受けました。

今回提案される案件は条例改正3件、補正予算5件、決算認定8件、その他1件、人事案件2件、報告事項2件、計21件です。

また、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を9月3日から9月26日までの24日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、依頼文「2025日本万国博覧会の大阪・関西への誘致に係る協力について」の取り扱いについて協議し、今定例会中に提案していくこととしました。

続いて、8月20日に開催した議会報告会のまとめを今定例会中に行うこととしました。

次に、本委員会は9月5日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催しました。

桴木副町長から台風21号の被害状況の説明を受け、その後、今定例会第3日の一般質問について、会議の再開時間及び質問の順序について審査決定しました。

会議は午前9時から再開し、通しで行い、会議時間の延長もあり得ること、11議員から提出された17件の質問順序は、質問通告書の提出順とすることを決定しました。また、議会報告会のまとめ方について協議しました。

次に、本委員会は、9月11日午前11時より301会議室において委員全員出席のもと、議会報告会の最終のまとめについて協議しました。

議会報告会のまとめは次のとおりです。

平成30年8月20日月曜日午後1時40分から、議員全員と民生委員児童委員31名参加のもと、「地域活動の状況と課題」について意見交換しました。

意見交換では、活動を通して感じられていることや課題、意見を伺い、活動に

に対する理解を深めることができました。特に、情報収集に関しては、行政からの情報には限度があり、自治会との連携が取りがたく、みずからの活動の中で努力し、情報を得られている等、苦慮されている様子がかがえました。

また、課題解決に向けては、行政や自治会とのさらなる情報共有や、委員活動に係る年間計画作成が必要であるとの意見がありました。

報告会終了後のアンケートでは、「本音で話ができ、民生委員児童委員の仕事を理解してもらえてよかった」、「地域の課題は、民生委員児童委員と議会が共通し、向き合うべきことである」、「議員活動においても意見等を生かし、行政にも提言してもらいたい」等がありました。

今後、議会として、意見交換での内容は、社会福祉を考える上での参考として議会活動に生かし、ともに竜王町の社会福祉の増進に努めていけるよう支援していきたい。

次に、本委員会は、9月26日午前8時30分より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、平成30年第2回臨時会の日程について協議し、会期を10月12日の1日限りとする案を作成しました。

次に、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」案が提出されたことを受けて、提出者からの説明を受け、議案の処理について審議、決定しました。

以上、議会運営委員会報告とします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成30年9月26日

委員長 古株 克彦

本委員会は、9月10日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと西田町長、山添総務主監、奥主監心得、川嶋総務課長、森建設計画課長及び関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

竜王町コンパクトシティ化検討事業の概要について。

コンパクトシティ化についての概要の説明を受けたが、次の3つの内容に集約されるものであった。

1、コンパクトシティ化構想・グランドデザイン策定のスケジュールについて。庁内プロジェクトチームをおおむね月2回のペースで開催し、関連プロジェクト

トとの総合調整を図っている。

加えて、学識経験者、町内企業の幹部・各種団体代表の方々等を交えた懇話会、また、町内のさまざまな分野で活躍されている方々をメンバーとした町民ワーキングの定期開催により、十分な議論をしていく。

これらを踏まえて、来年3月までに、庁舎周辺を中心核とした10年後のコンパクトシティ化構想と、30年後のグランドデザインを作成し、来年4月以降は町民・事業者等への提示と意見交換を行う。

2、竜王町の特徴を捉えた基礎データ。

5つに分けて、1つ目に、人口推移の見通しでは、対策を講じなければ、2045年には約8,500人にまで減少し、高齢化率は約39%までに上昇する。

2つ目、通勤通学における人の動きは、流入人口が流出人口の約2倍であり、就業の場としての性格が強い。平成27年の流出人口は4,172人で、流入人口は9,015人であった。

農家数は減少傾向にあり、1995年、20年後には約半数まで減少している。

4つ、工業に分類される事業所数の経年推移は増減を繰り返しており、平成25年までは全体として減少傾向にある。

1つ、商業では、2007年までは近江八幡市を中心に周辺都市への購買が流出していたが、2010年のアウトレットパーク、2011年のフレンドマーケット開業の影響により、小売吸引力指数が飛躍的に増加した。

3、コンパクトシティ化検討と都市計画区域区分との整合性について。

従来の構想は、中心核に住宅を誘致し、若者の人口をふやす構想であったが、市街化区域に編入されなかった。今回の構想は、まずは、学校等の公共施設を中心核に集約化し、その周辺を含め市街地整備につなげていく構想である。市街化区域の設定には、面積は20ヘクタール以上という要件がある。

主な質疑応答。

問) コンパクトシティ化を検討していく中で、議会とのかかわり方はどうなるのか。

答) 意見交換できる場を設定します。

問) 竜王町の基幹産業である農業はどう位置づけていくのか。

答) 農業のあり方そのものも、農地を集約化、大規模化すれば、若い方にも取り組みやすいと聞いていますので、プロジェクトチームを立ち上げながら検討し

ていきます。また、農地保全にも配慮していきたいと考えています。

問) 中心核の住宅構想はどう考えているのか。

答) 公共施設を個別開発していく場合は、都市計画の市街化区域でなくても整備が可能です。住宅は民間活力の導入を考えていますが、民間による開発は、市街化区域になっていないとできません。そのため、公共施設を集約した後、その周辺を市街化区域に入れていくように順次進めていきます。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成30年9月26日

委員長 山田 義明

本委員会は、9月10日午後1時より第1委員会室で、執行部より西田町長、甲津教育長、田邊教育次長、武久学校教育課長、町田教育総務課長心得、ほか担当職員の出席を求め、所管事務調査を実施しました。

所管事務調査。

1、学校園の危機管理について。

教育総務課では、教育施設のほとんどが昭和から平成初期に建築されているが、子供たちの安全確保を最優先に、園舎や校舎を中心とした施設と設備について次の3つの視点で対応している。

イ、施設等の経年劣化や自然災害による危険対策として、修繕及び改善。

ロ、各学校園の教職員等による点検における、異常箇所の報告への迅速な対応。

ハ、高度、または専門的な操作や管理が必要な設備等の安全確保に向けた対応。

平成27年の竜王中学校灯油流出事故を教訓に、各校園の全ての施設と設備について可能なものについては手順書の作成を行い、適切な操作のための研修会を実施しています。

また、施設の安全点検は、教職員や専門家による安全点検と児童生徒や保護者からも意見を聞き、多様な視点から安全確保を図っています。今後も学校園との連携を密にし、施設の点検・管理等に漏れのないよう、点検項目一覧表を活用して危機管理体制の強化に努める。

学校教育課では、学校園では安全計画に基づき、年間を通じて子供たちに安全教育を行う。安全教育は、「自分の命は自分で守ること」を基本にし、危機回避や危機検知能力を身につける教育を行う。

施設や設備等の危機管理については、日常的、また、定期的な点検を実施しているが、教職員の施設や設備管理面に対する意識の向上を図るため、責任の所在を明確にし、学校園の仕事を割り振る分掌表の追加、それから見直しを実施した。

危機に備える活動では、教職員の訓練や研修を行い、危機対応能力を向上させる活動を行っている。訓練は、より専門的な知見での指導を仰ぐため、関係機関と連携し、実効性の高い訓練をしている。

なお、今回、各校園における危機管理チェックリストを作成し、校園での危機管理の実施項目や内容を一覧にしたことにより、他の校園の実施状況や内容が明らかになった。これにより、参考とすべきところが明確となった。

いじめ防止の取り組みとしては、常に児童生徒の関係する大人が、子供の様子を観察している。観察において、教員の立場でない支援員等が非常に大きな役割を果たしていただいています。

いじめの未然防止のためのアンケートでは、対応が必要と判断される内容は、担任等と個別懇談を実施し、対応・支援・指導を行っている。

また、各学校とも、教職員による全児童生徒との教育相談の実施をしています。

その他、児童生徒が主体となるいじめ防止に向けた取り組みも定着しているということや人権啓発デーの実施状況などの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) いじめを発見する方法として、中学校では、担任と生徒との間で「生活のあゆみ」でやりとりをされているが、小学校でも、高学年になれば、このような取り組みが必要ではないか。

答) 中学校は、教科担任制であることから、生徒の様子を一日を通して見られないが、小学校は学級担任制であるため、担任が一日を通して同じ子供の姿を見ている。このことから、中学校では、担任と生徒がしっかりとつながれるように「生活のあゆみ」の取り組みがあります。

問) 不登校はあるのか。

答) 竜王中学校の場合は、全く来られないというような不登校はないが、行き渋りも含め数名が課題を抱えている状況であります。

学校にその子が登校しやすい体制をつくるということで、別室対応や、放課後対応などを行っています。

2、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について。

学力調査の結果について、小・中学校における全国や滋賀県の平均正答率の経

年比較を、科目別に説明を受けた。

現状分析や原因・背景は、生きて働く「基礎基本の力」が十分に定着していないことや、主体的に学ぶ姿勢が十分に育っていないこと、「読解力」と「書く力」に弱さがあること、「思考力」、「判断力」に課題があること、家庭学習の習慣化や学習時間の短さに課題があることが挙げられる。

今後の学力向上に向けての学校での取り組みは、「基礎基本の力」が定着し切っていない現状を全教職員が重く受けとめ、その改善に積極的に取り組む「意識」と学校の「組織力」が必要不可欠である。

学力向上に向けて、町教育委員会と各学校、家庭、専門家などが連携し、全町の一体的に一貫した取り組みと、改善に取り組んでいく。

次に、学習状況調査では、よいところとして、自尊感情が高くなっている、規範意識やいじめに対する意識がしっかりしている、地域に対する愛着や感謝の心が育っているとの結果であった。

一方、自分の目標や夢が描きにくい、家庭学習が定着していないとの課題があることもわかった。

主な質疑応答。

問) 学校では、学校教育方針に基づき、人間性の豊かさを求めながら教育されている。

しかし、今回の調査によると、学力が定着し切っていない。この結果を受けて、これまでの取り組みについて方針転換されるのか。

答) 各学校の取り組みを大きく方向転換するのではなく、強化すべきところに焦点を当てて働きかけていく。基礎基本を定着させるために、2つの取り組みを検討している。

まず1つ目は、反復練習をする時間を確保するということである。漢字練習や暗唱を朝の取り組み等に取り入れるということ。

2つ目は、主体的、対話的で深い学びを大切にしながらも、授業の中でまとめや振り返りの時間をしっかり確保するように働きかけていきたいと考えています。

問) 学力・学習状況調査の結果を受け、課題等の解決に向けて地域や学校での取り組みが必要であるということだが、学校から保護者に対して危機感をもっていただけるように伝えているのか。

答) 子供たちのよさを認めながら、課題になっていることを工夫して伝えたいと考えています。

また、子供たち自身が意欲や必然性を感じながら、主体的に家庭学習に向かえるような働きかけが必要だとも考えています。

以上、教育民生常任委員会の所管事務調査といたします。

○議長（小森重剛） ただいま、各委員長より各委員会の委員長報告がございました。それぞれの報告に対して、この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。発言ございませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、各委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第14 議員派遣について

○議長（小森重剛） 日程第14 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定したいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第15 委員会の閉会中の継続調査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第15 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

西田町長。

○町長（西田秀治） 平成30年第3回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、去る9月3日から26日までの24日間にわたりまして慎重なる御審議を賜り、提案させていただきました議案に対しまして、全ての議案を可決いただきましたことに、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

また、各委員会の場や一般質問におきまして、議員各位から事務処理の適正化、全国制覇された団体に対する表彰等、自然災害に対する防災・減災対策、コンパクトシティ化検討を含めた今後のまちづくり、小中学生の学力・学習状況、竜王農業の振興など多岐にわたっていただきました御意見、御指摘等につきましては、その対応に十分留意して今後の町政運営に当たってまいり所存でございますので、今後とも格段の御指導、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、9月4日から5日にかけて日本列島を通過しました台風21号は、非常に強い勢力で、猛烈な風が吹き、猛烈な雨が降ったところでございまして、近畿地方では甚大な被害が報告されているところでございます。

本町におきましては、家屋などの建物及び農業用のビニールハウスへの損害、樹木が倒れるなど各地でさまざまな被害が発生したところでありますが、幸い人命への被害はなかったことにつきましては安堵しているところでございます。

本定例会開会時の挨拶において触れさせていただきましたが、今年度に入りましても全国各地でさまざまな災害が発生しております。また、今週末も台風24号の襲来が危惧をされておるところでございます。

私たちが近年経験したことのないような災害に対し、いかに備えていくのか。発災直前及び発災後の対応をいかに行うのか。今年度見直しを予定しております地域防災計画の改定に際して、改めて考察していく必要があると認識しております。

9月9日には、竜王町総合運動公園におきまして、竜王町総合防災訓練を実施しました。今回の訓練では、町民の皆様、消防団、関係機関との連携を中心としながらの訓練ではありましたが、新たに甲賀市消防団に御協力をいただき、防災学習車により防災体験などを行っていただきました。体験を通して、自分の身は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守るという認識をもっていただくこと

が大変重要だと思っております。

次に、今後の予定に関しまして、1件御紹介をさせていただきます。

10月7日に開催いたします第49回町民運動会「ドラゴンピック2018」でございます。従来の運動会要素に加え、まちのにぎわいと活力、つながり、楽しさを演出し、全員参加、スポーツを通じて地域に活力を創出していきたいと考えております。

具体的には、町内企業や各種団体参加していただく企業・団体対抗お楽しみリレーの実施、午後の種目開始前に、立命館大学チアリーディングの演技を披露させていただきます。

そのほかにもプログラム編成の見直しやLEDビジョンを設置し、競技会場の様子をリアルタイムで提供することを予定しております。

さらには、2024年滋賀国体では、本町においてスポーツクライミング競技の会場となることが決定しております。ボルダリングをまちのシンボルスポートとして取り組むため、町民運動会の場を生かし、認知度を向上していきたいと考えております。

議員の皆様におかれましては、御参加いただき、特段のお力添えを申し上げます次第でございます。

結びに、これからの季節、朝夕冷え込んでまいります。議員の皆様におかれましては、くれぐれも健康には御留意いただき、町政発展のため、引き続き御活躍いただきますよう御祈念申し上げます。閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

○議長（小森重剛） それでは、閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る9月3日から本日までの24日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、多忙の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な議案について慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただき、ありがとうございました。

本会議、委員会において各議員から述べられました意見なり、要望事項につきましましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第です。

さて、国内では、7月に西日本の大雨による水害及び土砂災害で二百数十人のとうとい命が犠牲になられ、今なお所在がわからない方もおられます。

その後は一変、8月の盆明けまで体温よりも暑い38度の前後の酷暑、また、最高気温が観測史上初の41度に達したところもあり、まさに災害とも言われる猛暑列島に包まれた時期でありました。

その後は、気象庁始まって以来の台風12号の異常な経路に始まり、台風20号、21号が連続して数十年ぶりと言われるほどの強力な暴風台風として、竜王町をはじめとして、日本縦断により各地に甚大な被害をもたらし、とうとい生命や財産が奪われるという、痛ましい災害に見舞われました。また、そのやさきに、北海道では震度7という地震に見舞われ、同じとうとい生命や財産が奪われてしまいました。

この3カ月間は、本当にありとあらゆる全ての自然災害が日本中に猛威を振るい、苦しめられた時期でありました。被災地の皆さんには、心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興を願うものであります。

幸いにして、当町は人的被害はありませんでしたが、竜王町に住んでいる我々も、いつ大災害に見舞われてもおかしくない状況であることに変わりはありません。

だからこそ、防災に対する取り組みは、安全・安心な暮らしのためにも重要であると痛感する次第であります。

話は変わりますが、町内においては米の収穫も終わりを迎え、各家庭の食卓では新米をおいしくいただき、学校園の給食や運動会のお弁当にも新米が登場するようになります。来月には、ドラゴンピックが盛大に開催されます。ほかにも、秋の行楽シーズンに合わせて、地域や各種団体、企業でイベントも開催されます。ますます竜王町が元気になっていくことを願うものです。

執行部におかれましても、平成30年度も後半へと進んでまいります。管理職におかれましては、人事評価がいよいよ賞与に反映されることとなり、改めて襟を正し、管理職として職員の人材育成をはじめ、業務遂行に邁進されるとともに、西田町長をはじめ、特別職におかれましても、最高責任者としての自覚とリーダーシップをより一層示していただきたいものです。

年度当初編成されました、重点施策プロジェクト推進体制の取り組みへの進行度合いが問いただされ、達成評価に向けた追い込みが求められるようになってまいります。さらに達成に向けた見える取り組みを、住民へ発信できるように願うところであります。

最後になりましたが、朝夕肌寒さを感じる季節となり、秋もだんだん深まって

まいりますが、議員各位、並びに執行部の皆さんにおかれましては、健康には十分御留意をいただきまして、町政発展のために御精進いただきますよう御祈念申し上げます。閉会の御挨拶といたします。

それでは、これをもちまして、平成30年第3回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変長期間、長時間御苦勞さまでございました。

閉会 午後3時11分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 小 西 久 次

議会議員 若 井 猛 志